

津波対策について

津波から命を守るためには、
「強い揺れ、弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたら」・・・すぐに避難！！
「揺れが無くても津波警報を見聞きしたら」・・・すぐに避難！！



津波警報・注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後、約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。その後「予想される津波の高さ」、「津波の到達予想時刻」等の情報を発表します。

マグニチュード8を超えるような巨大地震の場合
「巨大」という言葉を使った大津波警報で、非常事態であることを伝えます



「巨大」という言葉を見たり聞いたりしたら、東日本大震災クラスの津波が来ると
思って、ただちにより高い場所に避難しましょう！

正確な地震の規模が分かった場合
予想される津波の高さを、1m、3m、5m、10m、10m超の5段階で発表します



「津波の高さ」は津波がない場合の海面からの高さです。津波が陸上で崖など
を駆け上った高さは、津波の高さの何倍にも達することがあります。

津波に関する情報

津波警報の発表後、沖合や沿岸の観測点で観測した津波の高さや到達時刻を発表します。

●高い津波が来る前は、津波の高さを「観測中」として発表します。

津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と 取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の 場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが 高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き 込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な 場所へ避難してください。
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで 1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生し ます。人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な 場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで 0.2m以上、1m以下の場合であって、 津波による災害のおそれがある場合。	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖い かだが生流し小型船舶が転覆します。 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から 離れてください。

(ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集)

津波からの避難

地震の揺れを感じたら！

- ・強い地震だけではなく、弱い地震
であっても。
- ・長時間の地震を感じたときも。

津波警報・注意報がでたら！

避難情報がでたら！

正しい情報の入手
(テレビ・ラジオ・防災行政無線など)

必要があれば
ただちに避難！

ただちに避難！

安全な場所へ
(指定の緊急避難場所へ)
・海岸にいる人は、
近くの高いところへ

津波の特性と避難行動のポイント

！ 水辺からすぐに離れる

津波注意報であっても水辺は危険。
ただちに海岸や川べりから離れる。



！ 津波の速度は速い

津波の速度は非常に早く、目に見えて
から逃げるのでは間に合わない。



！ 避難したら戻らない

津波警報・注意報が解除され安全が
確認されるまでは避難を継続する。



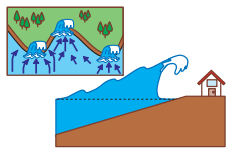
！ 津波は何度も来る

津波は繰り返し襲ってくる。
後から来る津波の方が高くなることも
ある。



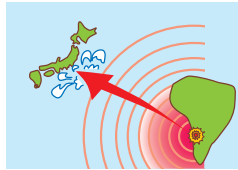
！ 津波は場所により高くなる

津波は沿岸に近づき水深が浅くなる
ほど、急激に高くなる。また、海岸の地
形などの影響で局所的に高くなる。



！ 津波は遠くからも来る

津波は遠方の地震等によって発生す
ることもある。日本近海の地震が伴わ
ない津波警報・注意報にも注意する。



冬の津波

冬の津波は、雪や氷などの様々な漂流物とともに押し寄せ、気温や海水温が低いことにより凍結
の可能性があることから、津波の被害が拡大する要素となっています。

冬は積雪や凍結のため歩きにくくなっていることや、歩道や道路の道幅が狭くなっていることな
どから、普段よりも避難に時間を要することが予想されます。津波警報などが発表された場合は、安
全な場所への早めの避難行動が大切です。